

おおま

岬の光

No.

117

令和5年5月1日発行

議会だより



ご入学おめでとうございます



3月定例議会 主な内容

○令和5年 第1回定例会

P 2～3

○一般質問

P 4

○全員協議会・特別委員会

P 5

○議会のできごと

P 6

○勇退議員あいさつ

P 7

○新議員紹介・編集後記

P 8

第1回 3月定例会

令和5年第1回定例会を3月3日開会し、3月15日に閉会しました。
本議会に提案された議案28件はすべて原案のとおり承認、可決、同意しました。

令和5年度 当初予算

一般会計

歳入歳出とも57億2188万円となり、前年度比3億6671万円、6.8%の増。

歳出の主なるもの

総務費

- 財産管理費で庁舎リース料9978万、ふるさと応援基金積立金3000万円、水産振興基金積立金3000万円。
- 企画費で、大函丸購入費9305万円、下北地域広域行政事務組合負担金5811万円。
- 原子力発電所対策費で、視察研修等に係る旅費1413万円。
- 電子計算費で、パソコンリース料1922万円。
- 戸籍住民基本台帳費

民生費

で、戸籍システムクラウド構築作業業務委託料2000万円。

- (仮称)複合施設外構工事9257万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金1179万円。
- 後期高齢者医療療養給付費負担金4310万円。
- 社会福祉法人大間町社会福祉協議会補助金3440万円。
- 障害福祉サービス費等給付費1億2875万円。
- 国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計繰出金合わせて1億9996万円。
- 大間保育園運営費及

衛生費

び児童手当合わせて1億1999万円。
○うみの子保育園指定管理料7105万円。

- 下北医療センター負担金1438万円。
- 各種検診及び予防接種委託料合わせて2208万円。
- 環境衛生費で下北地域広域行政事務組合負担金6036万円。
- 一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料4759万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金3億5964万円。
- 大間町水道事業会計負担金1251万円。
- 繁殖センター費で飼育費等合わせて3101万円。
- 大間町繁殖育成センター管理業務委託料1582万円。

農林水産業費

- 車輜購入費1865万円。
- 下北北部地区中山間地域総合整備事業負担金1767万円。
- 鳥獣被害対策連携業務委託料1685万円。
- 大間町水産振興事業費補助金1650万円。
- 地域水産物供給基盤整備事業負担金・港整備事業負担金・漁港施設機能強化事業負担金合わせて1700万円。
- 警備・清掃・雑役業務委託料2460万円。
- 小規模経営改善普及及び商工振興事業補助金1780万円。
- ブルーマリンフェスティバル企画運営委託料1996万円。
- 融資対策事業貸付金1300万円。
- 海峡保養センター・養老センター指定管理

商工費

- 料1300万円。
- 海峡保養センター各種工事合わせて1476万円。
- 車輜購入費1472万円。
- 道路維持補修工事及び改良工事等合わせて1億1280万円。
- 港湾改修事業負担金及び港湾浚渫事業負担金合わせて2355万円。
- 町営住宅根田内団地建替実施設計業務委託料1750万円。
- 町営住宅大間崎団地建替工事9300万円。
- 下水道事業特別会計繰出金1億4165万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金13億2645万円。
- 大間町消防団事務委託料2620万円。

消防費

教育費

○スクールバス運行業務委託料996万円。
○大間中学校多目的トイレ増設工事及び大間中学校昇降装置増設工事合わせて1978万円。

公債費

○元金4億6901万円、利子1787万円の当該年度支払見込額を計上。

諸支出金

○大間病院会計負担金2億4000万円。
○予備費2000万円。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ7億5875万円、前年度比5198万円、35%増となる。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ5696万円、前年比47万円、0.84%増となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ6億693万円、前年度比1071万円、1.63%増となる。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ2億5552万円、前年度比596万円、2.39%増となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出の水道事業収益1億7322万円。
○資本的収入及び支出の資本的収入8086万円、資本的支出1億5437万円。
※資本的収入が資本的支出に対して不足する額7350万円は内部

留保資金等で補填する。
※企業債及び一時借入金 の限度額4000万円。

○議会の議決の必要な経費として、職員給与費1987万円、たな卸資産購入限度額は1000万円とした。

専決処分

○除排雪経費及び財源調整の予算措置。

条例の一部改正

○審査会に関する規定を削除するとともに現行法に合わせて字句の修正を行うため大間町情報公開条例の一部改正。

○会計年度任用職員における給料表を改正するため、大間町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正。
○消防団員の処遇改善及び地域の防災力充実

を図る為、大間町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部変更。

○行政手続きにおける負担軽減や利便性向上を図る為、押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の改正。

○祝金支給額の見直しに伴い、百歳祝金支給条例の一部改正。

○各学校にコミュニケーションスクールを導入することにより、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正。

○出産一時金の増額に伴い、大間町国民健康保険の条例の一部改正。

○国、県における道路占用料の改正が施行されることに伴い、大間町道路占用料等徴収条例の一部改正。

○地方公務員法の改正に伴い、大間町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正。

令和4年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ12億9775万円追加し、歳入歳出の総額7億8637万とした。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ3527万円減額し、歳入歳出の総額6億7149万とした。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ3万円を減額し、歳入歳出の総額6億1446万円とした。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ4440万円減額し、歳入歳出の総額6億4597万円とした。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ275万円減額し、歳入歳出の総額2億4973万円とした。

教育委員会委員



菊池 雄大 氏

人権擁護委員



石澤 旭 氏

一般質問



野崎 信行 議員

質問時間 60分

「町長答弁」
可能なものにつきまして
は無料に対応して
おります。

「町長答弁」
災害時のブロック塀
安全対策について
通学路などのブロッ
ク塀の調査や判定を青
森県が全国で初めて取
り組む。大間町でも該
当案件があれば利用す
べきである。

「町長答弁」
今後の課題として検
討してまいりたいと考
えております。

「町長答弁」
「サル・クマ・カモ
シカ」AIカメラ取り
付けについて

「町長答弁」
今後、被害状況及び
費用対効果を見ながら
鳥獣対策の参考とさせ
ていただきます。

「町長答弁」
民間シンクタンク
「楸ブランド総合研究
所」は、都道府県別魅
力度ランキングを発表
した。一位札幌市・二
位函館市・三位京都市
で大間町は二二三位
だった。より住みやす
い町づくりをすべきで
ある。

「町長答弁」
より良い大間町にす
るために施策を進めて
まいりたいと考えてお
ります。

「町長答弁」
総理大臣が全国行脚
すると聞いている。大
間町のフェリーを国で
の運営など、各種要望
を伝えるべきである。

「町長答弁」
全国行脚の目的は、
異次元の少子化対策実
現のために当事者の生
の声を聞くことが目的
とされており、国への
働きかけは必要と考
えますので、機会があ
れば要望活動を展開し
たいと思っております。

「町長答弁」
「原子力発電所処理
水放出」について

「町長答弁」
来る3月29日に福島
第一原発の視察を予定
しております。まずは、
現状を理解し、勉強す
ることが必要と考えま
すので、是非とも視察
にご参加いただければ
と思います。

「町長答弁」
青い森信用金庫大間
支店から明治安田生命
むつ大間営業所までの
農道が、デコボコ道で
ほこりが舞い、近隣住
民が非常に困惑してい
る。砂利を敷き詰め改
善すべきである。

「町長答弁」
現地の状況等を確認
し、必要であれば維持
補修等の対応を行って
まいりたいと思えます。

「町長答弁」
割石地区バス路線の
道路がとても悪い状態
である。地域住民のた
めに改修舗装すべきで
ある。

「町長答弁」
ご質問のありました
区域の舗装補修につい
ては、令和5年度の予
算において実施予定で
ございます。

「町長答弁」
県が示した、むつ市
大畑・木野部・風間浦
村・易国間の国道27
9号バイパス整備につ
いて、大間町まで延長
し起点を大間町とする
旨の要望をすべきであ
る。

「町長答弁」
易国間から大間まで

「町長答弁」
「带状疱疹予防接種」
については、農道整備
により進められており
ますが、大間町までの
バイパス整備は必要と
考えております。なお、
下北総合開発期成同盟
会の最重要事項として、
青森県に対して
要望しておりますので
引き続き要望してまい
りたいと思えます。

「町長答弁」
主に年齢50代～80代
の人がストレスが原因
で発症するといわれて
いる。医療保険がさか
ず8000円徴収され
る。町が半額負担すべ
きと考える。

「町長答弁」
これは、今後検討し
てまいりたいと思いま
す。

「町長答弁」
「小奥戸斜面の水路
整備」について

「町長答弁」
現地を調査のうえ対
策が必要であれば、改
善の方法を検討してま
いりたいと思えます。

「町長答弁」
32の質問の中から14
を掲載いたしました。

「問1」

大間崎「カラスの潤
漁港」整備について

「町長答弁」

以前に大間漁港から
要望が出ており、町か
らも県に対して要望書
を提出しております。

「問2」

「企業版ふるさと納
税」について

「町長答弁」

隣接の佐井村・風間
浦村では、多く受け付
けている。大間町でも
条例を作り募集すべき
である。

「町長答弁」

企業版ふるさと納税
を活用する事業はあり
ませんが、必要に応じ
て活用を検討してまい
りたいと思えます。

「問3」

「大間町幸福度青森
県1」をめざすについ
て

「町長答弁」

幸福度東北一位に青
森県藤崎町が選ばれた。
大間町も大東建託に依
頼しランキングを付け
てもらうべきである。

「町長答弁」

町民が幸せであると
感じられるよう施策を
考えてまいりたいと思
います。

「問4」

役場のコピー機を
使って、町民が希望す
るのであれば有料（10
円程度）でコピーサー
ビスをすべきである。

「町長答弁」

業務の範囲内におい

全員協議会

〔令和5年2月22日〕

案件

一、大間町百歳祝金支給条例の一部改正(案)について

・平成3年10月に条例を制定し、百歳の誕生日を迎えた方に百万円の祝い金を支給して来たが、近年少子高齢化により人口が減少して来ており、その対策として令和4年度から子宝祝金の支給を開始し令和5年度から小学校入学祝金の支給を予定しています。このことから、青森県内の市町村を調査したところ、百万円を支給している市町村は、大間町のみでありました。今後は少子化対策として子宝



祝い金、小学校入学祝い金を支給することとしたい。つきましては、百歳祝い金を50万円とする。

二、大間漁業協同組合経営強化資金貸付金(案)について

・昨今のコロナウイルス感染症等により国内水産物の需要減少・価格低迷により販売手数料収入の減少し、運転資金が逼迫して来たことにより借入れをし、その対策にあたりたい。今後の組合経営の健全化に努めるため次のように対応を検討していきたい。

- ①販売手数料の見直し
- ②購買事業の見直し(掛売り検討)

三、大間町特別職員の給与の特例に関する条例(案)について

・現町長及び教育長の給与を15/100〜10/100を乗じて得た金額を減ずる説明であったが、複数の出席議員よりこれまでの現

町長の実績を鑑み、今後も町長として100%以上の仕事をしたいとの意見があり、否決となった。

四、大間町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部を改正する条例(案)について

・人口の減少等により、大間町消防団員の定員を190人から150人に改正する。又、団長他団員の報酬は国の通達の通り改正するとともに、報酬の支給は各々の口座に振り込むものとする。

(※案件の一、二、四については、令和5年3月議会に於いて可決されました。)

特別委員会

〔大間原子力発電所対策特別委員会〕

〔令和5年3月3日〕

案件

一、新規制基準適合性審査の対応状況について

(概要)

原子力規制委員会における審査状況は令和23年2月24日で58回目であるが、未だに先が見えてこない状況にある。又、58回目審査に提出した書類に地震による解析データの入力ミスが判明し、事業者が謝罪をした。しかしながら、このミスについては工期の遅れを考えると、あつてはならない事であると多くの意見が出された。

二、2023年度の工事について

(概要)

令和5年度の工事概要としては、新規制基準の影響を受けない範囲について、主建屋の建築工事や機械、電気工事、敷地造成等の土木工事を行う予定としている。

(工事のお知らせはポケット等でお知らせします。)

三、建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

(概要)

・住民訴訟の審理状況は3月7日に第9回口答弁論が開催され、第10回口答弁論は9月26日に予定されている。

・函館市の訴訟審理状況は3月1日に第29回口答弁論が開催され、第30回は令和5年9月12日に予定されている。

令和4年度

町村議会広報クリニック参加

エディター・
広報アナリスト

よしむら きよし
吉村 潔氏



プロフィール

上場企業（国内・外資）の広報媒体の制作に長年携わる一方、行政・議会を中心とする広報セミナーの講師をつとめる。専門分野は自治体広報（行政・議会）。

町村議会広報表彰審査委員。日本広報協会・広報アドバイザー、全国広報コンクール審査委員。

著者に『実践広報紙づくり』（日本広報協会）、『広報で差がつく議会力』（中央文化社）等がある。

議員研修誌『地方議会人』（中央文化社）に『市町村議会広報クリニック』を隔月で連載中。

『月刊広報』に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」（2014年）、「動く議会 変わる広報」（2018年）を連載。

令和5年2月16日
東京都千代田区

全国町村議員会館
吉田委員、岩泉委員参加

○広報制作について発表

「題」

- 一、広報紙の体制について（事務局との役割分担）
- 二、今回クリニックする広報紙に関して力を入れた、ここを見てほしいところについて
- 三、課題と目標について

○総評

- 一、8ページの中に定例会や閉会中の活動をおさめています。
- 二、一方、文字情報が多、読むのが億劫な人も出てきます。
- 三、一般質問の執筆マニュアルを作成し、できるだけ統一を
- 四、住民が登場する広聴企画を設けてみてください。
- 五、新たな展開に向けたリニューアルも検討しましょう。



大間町議会の出来事

議会視察研修

令和5年1月26日
四国電力(株)伊方原子力発電所視察
六名参加



発電所の施設説明状況

三菱日立パワーシステムズ(株)
呉工場視察



重さ910トン、高さ21メートル
10年になる圧力容器



圧力容器の説明をうける

令和5年3月29日
福島第一原子力発電所視察
7名参加



汚染水対の説明をうける



施設の視察



28年間の議会人生

岩泉 盛利

今思えば、平成7年50歳の同窓会で友人達に担ぎ上げられ立候補、当選するが政治の政も分らないまま17名の先輩の厳しい指導を受けながら、産業建設常任委員会、広報委員、大間町消防委員と議員活動が始まる。

◎2期目の平成11年の選挙には、議員定数2名削減の16名となり2名の新人議員が当選する。私は自分の経験を生かす産業建設常任委員会副委員長に就任、大間原子力の発電所対策特別委員会副委員長にも就任され、土地問題で浅見町長が60回も足を運んだが一度も会うことが出来なかった。反対者と泉特別委員長と40分も話し合う事が出来たが、本人の思いは堅く考えを変えることが出来ないことが分かり、炉必の位置の変更を特別委員で提案。

建屋の中心から20メートル南側に移動することで準備工事が始まるが23年3月11日の、福島第一原子力発電所の事故により原子力の安全緩和が崩れ国が定める規政委員会の

- 厳しい審査により工事を進める事が今だに出来ず残念だ。
- ◎3期目の平成15年に
- 1 総務企画常任委員会委員長に就任
 - 2 市町村合併調査特別委員会委員長に就任
 - 3 北通り三ヶ町村合併調査検討特別委員長に就任され三ヶ町村の合併を進めるため勤めて住民投票に持ち込んだが町長は合併に反対し自分の選挙に持ち込み、原子力発電に関わる三法交付金を二村に使用わけてしまおうとウグイス嬢は「町長を助けて下さい」の声が今でも思い出される。合併してれば三ヶ町村の発展が今頃大きく変わったと残念に思う。
 - 4 原子力発電所経済安全対策特別委員会委員長に就任
 - 5 下北医療センター議会議員に就任
 - 6 奥戸ダム建設特別委員会副委員長に就任
- ◎四期目の平成19年
- 1 文教厚生常任委員に就任

- 2 下北医療センター議会副議長に就任
 - 3 原子力発電所対策特別委員会委員長に就任
 - 4 議会広報委員会委員長に就任
 - 5 大間町公共施設配置計画策定特別委員会に就任
- (平成20年12月) 竹内
- ◎5期目の平成23年に議長に挑戦するが成らず残念であった。

- 1 2 回目の副議長に就任
 - 2 一部事務組合下北医療センター議会副議長に就任
 - 3 大間町公共施設配置計画策定建設特別委員会委員長に就任
 - 4 大間原子力発電所対策特別委員会副委員長に就任
 - 5 大間一函館フェリー航路対策特別委員会委員長に就任
- (平成24年5月17日) 新船フェリーの起工式が行われる。
- ◎6期目平成27年
- 1 大間町監査委員(議会選出)
 - 2 一部事務組合下北医療センター議会副議長に就任
 - 3 大間原子力発電所対策特別委員会委員長に就任
 - 4 産業民生常任委員会委員長に就任
 - 5 大間町公共施設配置計画策定建設特別委員会委員長に就任
- (平成28年4月25日) 大間町役場庁舎新築に向け、宮城県松島町庁舎視察研修を実施。
- (平成29年7月6日) 役場庁舎建設工事安全祈願祭が行われ庁舎建設工事が始まる。
- (平成30年9月) 完成。9月14日内覧会始まる。「議場建設に時間を要したが、立派な議場が完成。感激する。苦労

- した甲斐があった。」
- ◎7期令和元年
- 1 三回目の副議長に就任6期24年間の議員人生議長職にも付かずなさげなく思う
 - 2 大間町公共施設配置計画策定特別委員会委員長に就任
 - 3 大間一函館フェリー航路対策特別委員会委員長に就任
 - 4 令和2年7月1日) むつ市横浜町の施設を見学視察
 - 5 令和4年3月30日) 仮複合施設建設安全祈願祭が行われ工事が進められる。基礎工事が完成後5センチの沈下が見られ基礎工事のやり直しで工期が1年延びる。
 - 6 令和2年7月2日) 大湊消防署大畑消防署庁舎視察する。
 - 7 令和3年5月17日) 十和田湖消防署、18日は平内消防署庁舎視察。
 - 8 令和4年11月24日) 大間町消防署庁舎建設安全祈願祭が行われ造成工事が始まり建設工事に入る。
 - 9 原子力発電所対策特別委員会副委員長に就任
- (令和4年9月9日) 原子力発電所工事が5年度目の2年間の延期の発表をする。
- 4 医療センター議会副議長
 - 5 大間町国保運営協議会会長
 - 6 議会運営委員会副



委員長 (令和元年7月5日) 大間一函館フェリー特別委員会を設置する

7 大間一函館フェリー特別委員会委員長に就任

(令和2年1月16日) 県に支援要望

(令和2年8月3日) 津軽海峡フェリー(株)と意見交換会

(令和3年6月21日) 津軽海峡フェリー(株)と意見交換会

(令和5年2月2日) 意見交換会

◎私の議会活動を紹介しますが28年間仕事を全う出来ましたのは町民皆様の努力の賜物と心から感謝を申し上げますとともに議会、行政、職員の皆様から心からお礼を申し上げます。有難うございました。残された様々な課題については心残りではありますが、新議員の皆様さんに託したいと思います。最後になりましたが大間町の更なる発展を心から期待し勇退の挨拶と致します。

令和5年4月23日執行の新しい大間町

議会議員を紹介します



山崎 一利 議員



竹内 勝雄 議員



佐々木 信彦 議員



正根 秋雄 議員



傳法 正広 議員



堺 祐介 議員



吉田 安男 議員



石戸 秀雄 議員



宮野 昭一 議員



傳法 厚史 議員

新メンバーで、町民のため頑張りますので
ご指示・ご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記

皆さんのかがお過ごしでしょうか。今年は雪も多く雪かきで大変だったと思います。やっと春風の心地よい季節になりました。コロナの感染も落ち着きを見せています。

新入生また新社会人の皆さんも慣れない環境に苦勞していると思います。どうか頑張ってください。

これから日増に過ごしやすくなりますが朝晩はまだ寒暖の差があります。どうか風邪などに十分注意して元気にお過ごし下さい。

記【竹内】
議会広報編集委員

委員長

吉田 安男

副委員長

佐々木 信彦

委員

野崎 信行

竹内 勝雄

岩泉 盛利